

平成12年1月13日  
気象庁予報部

## 配信資料に関する技術情報（気象編）第63号

### － 台風の大きさ・強さ及び熱帯低気圧の分類の表現の変更について － (配信資料に関する技術情報（気象編）第14号、第17号及び第55号関連)

気象庁では、これまで熱帯低気圧や台風について「弱い」や「小さい」といった形容詞を用いて、その性質を表現してきました。

しかし、「ごく小さく弱い台風」や「弱い熱帯低気圧」も状況によっては多大な被害をもたらすことがあり、このような表現は防災上必ずしも適切ではありません。このため、台風の大きさ及び強さ並びに低気圧の分類の表現について、「弱い」や「小さい」といった用語の使用を防災上の観点から見直し、平成12年6月1日12時（日本時）以後の**発表の情報**から実施することとしました（別紙1を参照）。ただし、報道機関等では、本変更の施行前に先行して対応することについては妨げません。

この変更に伴い、関連の配信資料（台風解析・予報情報電文（KFXCii RJTD：ii=70～75）及び全般海上警報コード電文（WWJP60 RJTD））を別紙2のとおり変更します。これは、電文フォーマットに関する変更ではありませんが、計算機処理による利用の場合には、**ソフトウェアの変更も必要となる可能性があります**ので、対応をお願いします。

また、これ以外のカナまたは仮名漢字の平文で報じる電文等の配信資料については、別紙1に基づき該当箇所の表現が変わります（英文で報じる電文・FAX図には変更はありません）。

なお、利用者の対応の便宜をはかるため、電文例や台風解析・予報情報電文の利用に関する解説資料を後日（平成12年2月を予定）提供します。

## 台風の大きさ・強さ及び熱帯低気圧の分類の表現の変更内容

### 1. 熱帯低気圧の分類

気象庁では、熱帯の海上で発生する低気圧（熱帯低気圧：英名 Tropical Cyclone）のうち北西太平洋域において中心付近の最大風速が風力階級8（およそ 17m/s）以上のものを「台風」、それに満たないものを「弱い熱帯低気圧」（英名 Tropical Depression）と定義して表現していました。

今後は、防災上の観点から、「弱い」という形容詞を削除し、単に「熱帯低気圧」と表現することとします。

	域内最大風速 (m/s)	17 未満	17 以上 25 未満	25 以上 33 未満	33 以上
(旧)	和名	弱い熱帯低気圧	台風		
	英名	TD	TS	STS	TY
(新)	和名	熱帯低気圧	台風		
	英名	TD	TS	STS	TY

(注) TS : Tropical Storm、STS : Severe Tropical Storm、TY : Typhoon

### 2. 台風の大きさ及び強さの表現について

現在は、下表に示すとおり、台風の「大きさ」を「強風域（平均風速 15m/s 以上の強い風が吹いている範囲）」の半径で、「強さ」を「最大風速」でそれぞれ5段階に区分し、台風情報の中では、これらを組み合わせて、例えば「大型で強い台風」のように表現していました。

今後は、防災上の観点から「弱い」、「小さい」という階級表現を削除し、形容詞を付けずに単に「台風」と表現することとします。

この結果、下表のとおり、台風の「大きさ」については、「台風」、「大型の台風」及び「超大型の台風」の3段階で表現することとします。同様に、台風の「強さ」についても、「台風」、「強い台風」、「非常に強い台風」及び「猛烈な台風」の4段階で表現することとします。

#### ①大きさの表現

強風半径 (KM)	200 未満	200 以上 300 未満	300 以上 500 未満	500 以上 800 未満	800 以上
(旧)	ごく小さい	小型 (小さい)	中型 (なみの大きさ)	大型 (大きい)	超大型 (非常に大きい)
(新)				大型 (大きい)	超大型 (非常に大きい)

#### ②強さの表現

域内最大風速(m/s)	17 以上 25 未満	25 以上 33 未満	33 以上 44 未満	44 以上 54 未満	54 以上
(旧)	弱い	なみの強さ	強い	非常に強い	猛烈な
(新)			強い	非常に強い	猛烈な

## 1 台風解析・予報情報電文 (K F X C i i R J T D : i i = 7 0 ~ 7 5)

「弱い熱帯低気圧」を「熱帯低気圧」と表記することに伴い、「台風の発生消滅等の連絡記事」に関する数字符号、及び「台風の階級」に関する略号の意味をそれぞれ変更します。

また、「台風の大きさ」「台風の強さ」に関する略号のうち、「小型」、「弱い」といった使用しない用語に対する略号を削除します。大きさ、強さを表現しない場合には、これまで「不明又は予報しない」として用いてきた略号「/ /」を用い、この略号の意味を「不明又は階級を報じない」と変更します。

なお、本件についての電文フォーマットの変更はありません。

具体的な変更内容等は次のとおりです。

### (1) 符号表「B 1 9 1 9 2 台風発生消滅等の連絡記事」

の数字符号の意味を変更します。

#### 数字符号 0 2 の意味の変更

旧：「台風発生の通知（台風規模の熱帯低気圧が西経域から入ってきた）」

新：「台風発生の通知（台風と同等の強さの熱帯低気圧が西経域から入ってきた）」

#### 数字符号 0 4 の意味の変更

旧：「台風消滅の通知（台風が弱い熱帯低気圧に変わった）」

新：「台風消滅の通知（台風が最大風速 17m/s (34 ノット) 未満の熱帯低気圧に変わった）」

### (2) 略号表「B 1 9 1 9 4 台風の階級」

の「日本語表現」と「その意味及び利用方法」の変更を行います。

#### 略号 HR についての変更

日本語表現	その意味及び利用方法
旧：熱帯低気圧	西経側に存在する台風クラスの熱帯低気圧
新：発達した熱帯低気圧	西経側に存在する、台風と同等の強さの熱帯低気圧

#### 略号 TD についての変更

日本語表現	その意味及び利用方法
旧：弱い熱帯低気圧	台風が弱い熱帯低気圧に変わったことを示す。報道する際には「台風第〇〇号は、衰えて弱い熱帯低気圧に変わりました」とする。
新：熱帯低気圧	台風が最大風速 17m/s (34 ノット) 未満の熱帯低気圧に変わったことを示す。報道する際には「台風第〇〇号は（最大風速 17m/s 未満の強さの）熱帯低気圧に変わりました」とする。

ただし、括弧内は省略してよい。

### (3) 略号表「B19195 台風の規模」

の略号を一部削除し、「階級表現」と「意味」の変更を行います。

削除する略号と対応する階級表現

SS (ごく小さい)、SM (小型)、及びMD (中型)

略号//についての変更

階級表現	意味
旧：不明又は予報しない	台風が温帯低気圧か弱い熱帯低気圧に変わった場合又はこの項目の予報を行わない場合
新：不明又は階級を報じない	台風から変わって、温帯低気圧又は最大風速 17m/s (34ノット) 未満の熱帯低気圧となった場合、あるいは、台風の大きさについて階級を報じない場合（「この項目の予報を行わない場合」を含む）

### (4) 略号表「B19196 台風の強さ」

の略号を一部削除し、「階級表現」と「意味」の変更を行います。

削除する略号と対応する階級表現

WE (弱い)、及びMO (なみの強さ)

略号//についての変更

階級表現	意味
旧：不明又は予報しない	台風が温帯低気圧か弱い熱帯低気圧に変わった場合又はこの項目の予報を行わない場合
新：不明又は階級を報じない	台風から変わって、温帯低気圧又は最大風速 17m/s (34ノット) 未満の熱帯低気圧となった場合、あるいは、台風の強さについて階級を報じない場合（「この項目の予報を行わない場合」を含む）

### (5) その他留意事項

台風の大きさ・強さに関する表現方法の変更により、次の4種の形態となります。略号からの翻訳結果を組み合わせて文章化する際には、このことに留意する必要があります。

- ①台風の大きさ・強さともに表現する。 例：「超大型の非常に強い台風」
- ②台風の大きさのみ表現する。 例：「大型の台風」
- ③台風の強さのみ表現する。 例：「強い台風」
- ④大きさ・強さともに表現しない。 例：「台風」

## 2 全般海上警報コード電文 (WWJP60 RJTD)

用いるコードに追加や削除はありませんが、辞書コードにおける用語が次のとおり変更となります。

なお、本件についての電文フォーマットの変更はありません。

表1 全般海上警報コード電文のコード辞書の変更

コード	旧	新
21004	弱い熱帯低気圧 (TD)	熱帯低気圧 (TD)
27001	弱い熱帯低気圧	熱帯低気圧
47002	弱い熱帯低気圧に変わる見込み	熱帯低気圧に変わる見込み